

木製パネルへの加工方法 中級編

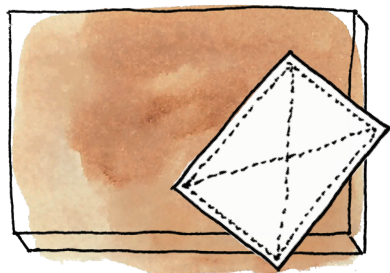
〔水性顔料インクによるプリント向き〕

水貼りすることで、仕上げをピンとさせることができます。

パネルに作品を巻き込み、側面も作品として見せるため、画像はあらかじめパネルの大きさに合わせて大きめにプリントして下さい。

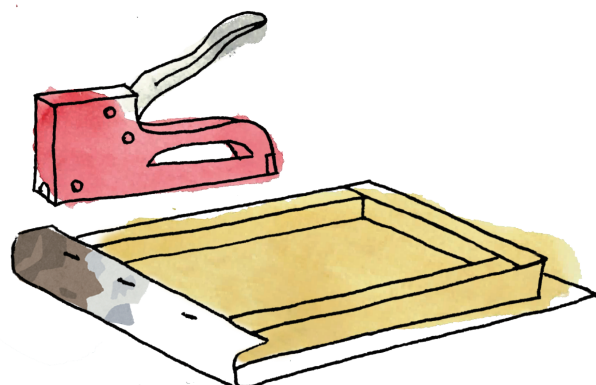
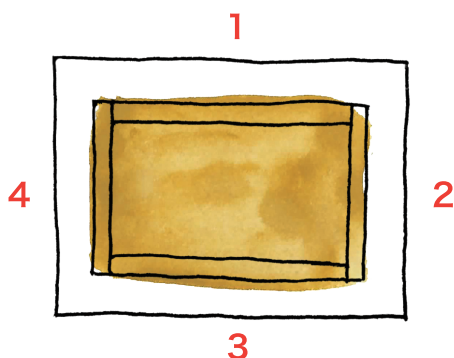
※染料インクの場合はインクが滲むため、この方法は利用出来ません。

※お勧めの用紙：楮（厚口）



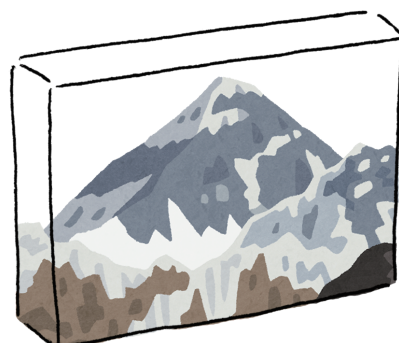
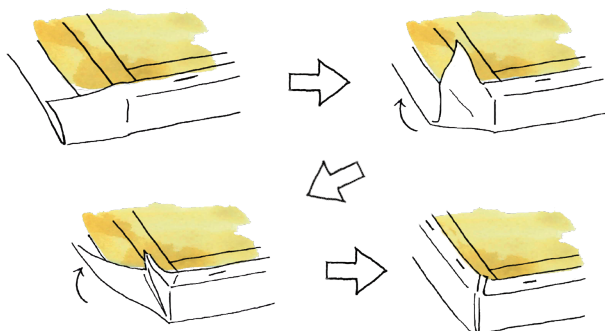
- 1) パネルはアクが出るので水拭きしてアク抜きします。
2〜3回繰り返す、雑巾にアクが付かなくなれば OK

- 2) プリントした作品の裏側を水を浸した刷毛で湿らす。
全体を充分しっとりとさせ、5分ほどおきます。



- 3) 紙の中央にパネルを配置します。
巻きこんだ後の紙の余白部分をあらかじめ想定して、余分すぎる部分はカットしておきます。

- 4) ガンタッカーまたはホチキスで、2と4の辺か、1と3の辺をパネルに留めます。



完成！

- 5) 角に折り目を入れて印をつけてから、残りの二辺を留めます。



詳しい手順は YouTube で
ご覧いただけます！

